

# 古川なおき レポート 第118号



自由民主党横浜市議員 古川なおきの政務調査報告

一月刊 2013年7月29日

## 「ライフ・イノベーション」

参議院選挙が終わりました。自民党と島村大候補は当選させていただき、参議院のねじれが解消しました。これからは、本格的に成長戦略など国にとって重要な政策を実行することができます。二俣川駅に小泉進次郎さんが応援に来てくれた時に、私もマイクで申し上げましたが、今の日本は、TPP交渉や領土問題でわかるように厳しい国際競争の中にあり、政党が互いに足を引っ張りあっている余裕はありません。国を発展させるためにスピード感を持って政策を実行しなければならないと思います。もちろん、自民党は選挙に勝ったことを喜んでいる場合ではなく、当選した議員は国益を第一に考え、閣僚は菅官房長官が言うように、緊張感を持って政権運営に努めていただきたいと思います。

さて、秋の臨時国会は、成長戦略実行国会になる見通しですが、国の成長戦略として「ライフ・イノベーション」が期待されます。「ライフ・イノベーション」とは、日本発の革新的な医薬品・医療機器等を創出することであり、健康長寿社会を実現するとともに、医療分野の国際競争力を強化し、経済成長に貢献することを目的としています。政府が指定した「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」は、神奈川県、横浜市、川崎市が連携し、川崎市の殿町区域、横浜市の末広区域、みなとみらい区域、福浦区域の4拠点を中心に、大学、研究機関、企業などを集積させ、アジアをリードする最先端の研究開発を推進しています。また、特区として税の優遇、財政支援、金融支援、規制緩和などが認められています。横浜市では、「予防・健康」「診断」「再生医療」など7分野において、18事業を推進しています（裏面参照）。尚、この特区での経済波及効果は5年後に約3000億円としています。

横浜市立大学の谷口英樹教授を中心とした研究グループによる iPS 細胞（人工多能性幹細胞）を活

用した肝臓の再生、東海大学や民間企業などによるバイオ人工腎臓の実現に向けた明るいニュースが新聞でも大きく報道されました。医療機器開発では、腹腔鏡下手術の練習機器も開発が進んでいます。その他、新たな抗がん剤の開発なども期待されます。検診においても、現在の方法では、少しでも癌が発症していないと癌を見つけることができませんが、今後は人の自己抗体を認知できるようにして超早期に診断し、今まで異常なしとされた健常者の中から癌の予備軍を探し出すことができるよう、研究開発が進んでいます。早期治療による医療費の削減が期待されます。

横浜市としては、特区の拠点も上記の4拠点から17拠点到指定区域を拡大するよう国に申請する予定で、認められれば、秋に新病院が完成する地元旭区の県立がんセンターや新横浜地区、新子安地区、金沢工業団地、東工大すずかけ台キャンパスなども加わります。横浜市は「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略特区」を全面的に支援するとともに、引き続き国に対しても協力を求めていくべきです。国、県、市が一体となって「病気になる」「健康を保つ」生活に寄与し、京浜臨海部から日本を元気にすることが出来ればと思います。将来は、横浜市サイエンスフロンティア高校の卒業生にも期待したいですね。

国力の源は経済力にあります。経済再生に向け、政府に期待するとともに横浜市にできることは全力で取り組みたいと思います。皆様のご意見をお待ちしています。

横浜市議員 古川なおき

### ※ 国際戦略総合特区

我が国の経済成長のエンジンとなる産業・機能の集積拠点の形成を目的として、平成23年12月22日に、7地域（北海道、つくば、東京、京浜、名古屋、関西、北九州）が指定されました。京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区では、「個別化・予防医療の実現」に向けた取組みを推進しています。

### ※ 横浜市の医療機器開発

医学と工学の連携による(以下、「医工連携」という)革新的医療機器の開発を目指しています。特区に関連する企業と大学、研究機関、医療機関、診療機関とが連携して推進する医工連携事業について横浜市がサポートしています。

古川なおきプロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了  
 横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書  
 平成7年4月 横浜市議員初当選(26才最年少)  
 現在 平成25年 水道・交通委員会副委員長  
 孤立を防ぐ地域づくり特別委員会  
 自民党横浜市議員団所属/横浜市FCキャプテン  
 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会 理事  
 旭区サッカー協会顧問/旭区スポーツダンス協会顧問  
 旭区卓球協会顧問/旭区食品衛生協会顧問

**京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区 / 横浜市が推進している主なプロジェクト**

横浜プロジェクトの7つのカテゴリー（18プロジェクトについては下記【表1】参照）

1. 個々の情報を基にした予防医療の提供などにより、クオリティ・オブ・ライフ（QOL）の向上を目指す「予防・健康」
2. 血中のアミノ酸などの情報により、がん等の早期発見に向けた診断技術開発を目指す「診断」
3. iPS細胞を活用した臓器再生など、再生医療の実現を目指す「再生医療」
4. 新たな健康医療サービスの開発に有用な情報基盤の構築を目指す「情報基盤構築」
5. 抗がん剤と診断薬の一体的な開発など、個別化医療に対応した医薬品の開発を目指す「創薬」
6. 医薬品等の承認に向けた支援機能などにより、ドラッグラグ・デバイスラグの解消を目指す「創薬・機器開発支援」
7. 患者のデータを使った腹腔鏡下手術訓練システムの開発など、革新的な医療機器開発を目指す「医療機器開発」

【表1】18プロジェクト

	事業名	事業の概要（ポイント）
予防・健康	テラーメイド予防医療	・健康管理器具を介して個人の健康情報を管理し、その人の状態、体質、生活習慣に合わせた、予防医療（病気にならないように生活習慣等の改善を行うもの）を提供する。
	市民の健康増進	・市民が健康づくりや介護予防などの健康行動を行うきっかけや継続支援となる仕組みの構築
診断	アミノインデックス®事業	・アミノインデックス®とは、血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康状態やさまざまな病気の可能性を明らかにする技術を活用したサービス ・1回の採血で複数のがんリスクが同時にわかるアミノインデックス®がんリスクスクリーニング（AICS）検査の普及を進めるとともに、本技術をメタボリックシンドロームなどの疾患領域へも展開していく。
	自己抗体活用診断システム	・自己抗体 … 自分の組織、細胞に対する抗体。リウマチ等、自己免疫疾患の原因。他の方法より早期に、高感度で病気を見つけることが出来る。 ・血液内の自己抗体を調べ、病気を早期に診断したり、新たな治療法を提案する技術を開発する。
	RNAチェック (ribo nucleic acid: リボ核酸)	・RNA … 遺伝子が働く際に生成される分子。 ・血液内のRNA量を調べ、病気を早期に診断する技術を開発する。
	脳活動画像表示システム	・ヘルメット型の脳波測定装置を装着し記録した脳波情報を解析し、鑑別診断情報を高精度で提供するシステムの開発。 ・認知症の早期診断などへの応用を目指します。
再生医療	ヒト iPS 細胞	・医薬品製造過程で行う「毒性を評価する試験」で有用な、ヒト由来の iPS 細胞を用いた肝臓の細胞・組織を作製する。
情報基盤構築	データベースの整備	・個人の健康管理情報を蓄積するデータベースを整備し、そのデータを活用した新規健康関連サービスの開発に繋がる基盤を構築する。
創薬	新規抗がん薬の開発	・「がん細胞の表面に新しく発見されたがん特有の分子を標的とする抗がん剤」と、「その分子が存在するかを診断する薬」を一体的に開発する。
	製造技術研究開発	・木原財団が整備した「横浜バイオ医薬品研究開発センター」を活用し、バイオ医薬品の主剤となる遺伝子組み換えタンパク質を製造するために必要な技術を研究開発する。
	核酸医薬品開発	・遺伝子物質（DNA や RNA）そのものを医薬品として開発する。
創薬・機器開発支援	Pre-PMDA (Pharmaceutical and Medical Devices Agency)	・PMDA…医薬品・医療機器を製造・販売するための審査・承認を行う機関（独）医薬品医療機器総合機構 ・企業等が医薬品・医療機器を開発し、製造・販売承認を受けるまでの各段階で企業等と PMDA の橋渡しを支援する。
医療機器開発	ヒト軟骨デバイス	・ヒト軟骨細胞を治療に応用するため、機器や細胞を研究開発する。
	バイオ人工腎臓	・災害時に発生する腎臓や多臓器の機能低下を救い、よりヒトに近い性能を持ったバイオ人工腎臓の開発
	低侵襲注射針・システム	・簡易かつ無痛で微量な血液を「採取」、「自動分析」する機器を作成
	手術シュミレータ	・患者個人のデータ（臓器形状等）を再現し、腹腔鏡下手術のシュミレーションが行える機器の開発
	超音波画像装置	・体の組織の硬度も計測できる超音波画像装置を開発し、リンパ浮腫の診断に活用したり、患者が家庭でセルフチェックできる小型かつ低価格の装置の開発を行う。乳がん等のセルフチェックへの展開も目指す。
	自走式カプセル内視鏡	・高画質、電源のハイブリッド化、小型実装技術、対外からの遠隔制御機能を備えた、「カプセル型内視鏡」の開発

問い合わせ：横浜市経済局新産業振興課 国際戦略総合特区推進担当



お気軽にご連絡ください。

FAX: 045-366-9700 / TEL: 391-4000

E-Mail: jm@furukawa2002.com



古川なおき政務調査事務所

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1

E-mail: jm@furukawa2002.com

